

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)白鷺駅前北街区計画 新築工事(駐車場)	階数	地上2F、地下1階
建設地	大阪府堺市北区金岡町1423番3、1423番14、1423番15、143	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年2月18日
敷地面積	1,618 m ²	作成者	
建築面積	1,618 m ²	確認日	
延床面積	4,752 m ²	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 1.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

N.A. N.A. N.A. N.A.

音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

N.A. 2.3 2.7

機能性 耐用性 対応性

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

1.0 2.0 1.5

生物環境 まちなみ 地域性・

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

3.0 N.A. 5.0 1.0

建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

N.A. 2.8 5.0

水資源 非再生材料の 汚染物質

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

4.7 1.3 2.7

地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合	自走式の立体駐車場一般建築物(閉鎖型駐車場)ではなく、開放性のある建物として設計し、換気設備や建築材料(内装)の使用を極力無くした設計をした。	その他 特になし
Q1 室内環境	地階部分はドライエリアを全周部に設けるなどして、各階、換気設備を設けずに、自然換気出来るように外周部に十分な開放性のある外壁面とした。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の空き地は極力植栽を配置した。
LR1 エネルギー	外壁部の開口を開放し、手摺部分を一部ルーバー仕様にする事で、自然換気・自然排煙・自然採光を積極的に利用した。	LR3 敷地外環境 道路沿いには極力植栽を配置し、景観に配慮した。
Q2 サービス性能	主要構造部において防錆対策として溶融亜鉛メッキ仕上げを採用した。	
LR2 資源・マテリアル	構造部材と仕上げ材が容易に分解できる構造としている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)白鷺駅前北街区計画 新築工事(I工区) 自走式駐車場棟	BEE	BEEランク
	建設地	堺市北区金岡町1423番3、1423番14、1423番15、1438番4	0.6	B-
	主用途/延床面積	工場 / 4,752.00 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	5	★★★★★
省エネ対策	3	★★★☆☆
みどり・ヒートアイランド対策	1	★☆☆☆☆
安全快適な暮らし	3	★★★☆☆

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO ₂ 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			4.7	5
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコア による評価値	建物全体	0.0	3	
		住居・宿泊部分	0.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				3.0
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				0.0
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				5.0
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				1.0
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				0.0
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			1.0	1
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			1.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			1.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			0.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			2.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			3.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	